

府内企業による蓄電池、水素・燃料電池及び再生可能エネルギー等に関する研究開発等を支援します

～大阪・関西万博を見据え、研究開発にチャレンジしませんか！～

2025年大阪・関西万博（以下、「万博」といいます。）は、「未来社会の実験場」をコンセプトに掲げ、SDGs達成への貢献をめざし開催されるものであり、再生可能エネルギーや水素の活用などによるCO2排出ゼロに向けた取組みが期待されています。万博は、最先端の蓄電池や水素・燃料電池等の実証実験や社会実装を進めるとともに、国内外に技術力を発信する絶好の機会と言えます。

大阪府では、蓄電池、水素・燃料電池、再生可能エネルギー等関連産業のビジネス創出・拡大を促進するため、府内企業によるリチウムイオン電池、燃料電池等の材料・部材の開発、太陽光や風力発電等の技術や材料・部材の開発などに対して、必要な経費の一部を補助しています。

このたび、令和4年度の補助事業を以下のとおり募集しますので、意欲のある企業の皆様からの応募をお待ちしています。

- ※ 本補助金の対象となる事業のうち、今回募集するのは「府内企業による研究開発等」に関する事業となります。「技術革新に関連する先端技術等の実証実験」に関する事業の募集については別途ご案内します。

補助の概要

<公募対象者>

- 大阪府内に主たる事業所等を有する事業者
- 補助金の交付決定までに大阪府内において創業を計画している者

<補助対象事業>

- 蓄電池、水素・燃料電池やその材料・部材、あるいは蓄電池、水素・燃料電池を活用した製品等の研究開発、試作開発
- 再生可能エネルギーに関する製品やその材料・部材等の研究開発、試作開発
- 上記の製品等の研究開発、試作開発の一環で実施する実証実験（科学的データの取得・解析を行うもの）
- その他上記に準ずるもので本補助金の事業目的に沿うもの
※実用化や事業化に欠かせないデータ収集・試験分析・評価等を含みます。

<補助金額>

- 上限 750万円/件

<補助率>

- 中小企業者……補助対象経費の2分の1以内
- それ以外の事業者……補助対象経費の3分の1以内

■ 事業化の成功例 ■



農業用マルチコプターの高出力バッテリーの開発

■ 対象事例 ■

- ・リチウムイオン電池、燃料電池等の材料・部材の開発
- ・水素ステーションの構成機器や部材の開発
- ・使用済リチウムイオン電池のリユース関連技術（蓄電池診断器等）の開発
- ・太陽光や風力発電等の技術や材料・部材の開発

補助事業実施期間

交付決定日から令和5年3月31日（金曜日）まで

対象経費

補助事業区分	経費区分	細目	補助対象経費の内容
府内企業による研究開発等	研究開発費	開発事業費	原材料費、消耗品費、機械装置又は工具・器具の購入・試作・改良・据付け・借用・保守又は修繕に要する経費、外注加工費
		開発委託費 (研究開発費の2分の1以内)	共同研究費、研究開発の一部を委託する経費
		開発事務費 (上記の開発に係るもの)	企業・共同研究機関・外部有識者等への謝金・旅費、資料購入費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、その他経費
	試験分析費		データ収集、試験分析、評価等に係る経費
	実証実験費		実証実験に係る費用

審査方法

専門家により構成された審査会を令和4年7月上旬～中旬（予定）に開催し、事業計画書に基づくプレゼンテーションなどによる審査を行った後、補助対象事業を採択します。

応募方法

- （1）公募要領 下記のホームページからダウンロードしてください。
- （2）受付期間 令和4年6月24日（金曜日）から **令和4年6月30日（木曜日）必着**
- （3）応募受付 応募書類を下記の提出先まで郵送ください。※持参・メールは不可
(受付は土曜日・日曜日・祝日を除く、午前9時から午後6時まで)

〔公募要領・応募書類など〕

ホームページ：<https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/soshutsusokushinhojo/index.html>

〔提出先〕

大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課 新エネルギー産業グループ

「令和4年度 エネルギー産業創出促進事業補助金」担当者宛て

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）25階

〔問合せ先〕

大阪府電子申請システムにて受け付け、後日、産業創造課ホームページにて質問内容及び回答を公開します。
(対面、電話、メール等での対応はいたしません。また、個別には回答しません。)

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022050063>